海人文化のくに「青都・鳥羽」のにぎわいの都市づくり

51 鳥羽（とば）

（三重県鳥羽市）

注目 ポイント ！

○港町と城下町。歴史と文化と自然を活かした国際競争力のある観光地づくり。
○民間、住民、行政が協働。ホスピタリティを高める受入体制の整備を推進。

外国人宿泊客数が約12,000人から約18,000人へ！
（平成14年） （平成17年）

春の鳥羽湾

◇◇ コラム ◇◇

平成11年度から鳥羽エコミュージアム事業に着手。地域の歴史、文化、自然や風土を活かしたまちづくりに取り組んできた。観光ルネサンス事業のATAに認定され、官民連携による国際競争力のある観光地づくりに着手。蘇州市を中心にした外客誘致の展開と合わせ大きな成果を生み出している。

鳥羽商工会議所
専務理事 清水 清嗣氏

これまでの経緯

平成 6年（1994）	新しい鳥羽の海の玄関口を整備するため、「マリンタウン21」事業を開始する。
平成11年（1999）	鳥羽商工会議所が鳥羽エコミュージアム事業に着手する。
平成13年（2001）	「海島遊民くらぶ」による自然体験エコツアーが始まる。
平成14年（2002）	NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが設立され、障害者のツアーサポートを開始する。
平成15年（2003）	伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会を組織し、友好関係にある中国蘇州市・上海市を中心とした外客誘致活動を開始する。
平成16年（2004）	「島の旅社」による離島観光の取り組みが本格化する。
平成17年（2005）	佐田浜・岩崎周辺地区で道路修景、橋梁整備、ポケットパーク整備等が始まる。 上記事業と連動して、外国人観光客の受入体制整備事業を開始する。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

自然体験エコツアー

旅館の女将が代表の「海島遊民くらぶ」は、無人島体験ツアーやつり体験などの自然体験エコツアーを企画し、多数の修学旅行生や一般客を受け入れている。鳥羽の自然の美しさや地域特性をリアルに感じられると、リピーターが増加。

無人島体験ツアーの様子

平成16年度発行
「ばりふり手帖」

バリアフリーツアーの促進

鳥羽水族館を見学する様子

身体の不自由な人やお年寄り等が安心して観光できる地域づくりを目的として設立された「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」が中心となって、観光施設・交通施設等のバリアフリー調査を行い、障害者・高齢者等への情報提供、バリアフリーアクティビティの開発等を実施。

離島観光の取り組み

答志島など鳥羽湾の離島の魅力を観光客に知ってもらうため、島民で結成された「島の旅社」では、自然や歴史文化を守りながら、島の資源を活用した体験ツアーなどを実施。離島というハンディをプラスイメージに変えるとともに、新たな観光ニーズを創出して島を活性化。

海女小屋体験

外国人観光客の受入体制の整備

国際競争力のある観光地づくりを目指して、鳥羽商工会議所が中心となって行政との連携により、外国人観光客向けのウォーキングマップ作成やリスニングガイドの導入などの受入体制を整備。ビジット・ジャパン・キャンペーン事業の展開とも相まって、外国人観光客が増加。

リスニングガイド

来日時の蘇州市少年宮合唱団

問い合わせ先

○鳥羽市商工観光課
Tel：0599－25－1156　http://www.city.toba.mie.jp
○鳥羽商工会議所
Tel：0599－25－2751　http://www.toba.or.jp